

令和6年第8回 清瀬市まちづくり委員会議事要旨

【開催日時】

日時：令和6年11月26日（火）午後6時から7時35分

場所：清瀬市役所4階 研修室

【出席委員】

望月委員長、渡邊副委員長、赤川委員、荒井委員、池田委員、大室委員、神山委員、岸本委員、國井委員、里見委員、柴田委員、関根委員、中村委員、野村委員、古川委員、星野委員、牧井委員

事務局：地域振興部長、市民協働課長、協働係長、協働係主任

【配布資料】

令和6年第8回 清瀬市まちづくり委員会次第

令和6年第7回 清瀬市まちづくり委員会議事要旨

市民提案 NO. 2、NO. 3

まちづくり基本条例に関する運用状況追調査（報告）

【議事】

- 1 開会 挨拶 望月委員長
- 2 事務局より
 - （1）配布資料の確認
 - （2）令和6年第7回議事要旨の確認 →修正なし
- 3 報告事項 渡邊副委員長
 - （1）清瀬市まちづくり基本条例に関する運用状況再調査
 - （2）新規市民提案 →2件 提案 NO. 2、NO. 3
 - （3）委員間共有フォルダの設置について
→オンラインで全委員が作業を共有することの説明
〈質問〉同時に入力した場合はどうなるのか。
〈回答〉「他の方が使用している」と表示される
- 4 協議事項
 - （1）まちづくり委員会調査について
（不明点や追調査が必要かグループ討議）
 - ・ 1 グループ
「まちづくり基本条例第10条を再確認して」と言い続けるしかない。
再調査の回答をくれただけで良しとする。
会議録を公開しているのであれば市報にも掲載してほしい。
 - ・ 2 グループ

公募がない理由で、専門的な内容のため公募に馴染まないと回答しているが、専門性に定義がないので何をもって専門性としているのか。定義がなければ公募で良いのではないか。工夫の仕方では個人情報は特定されないのではないか。差異を見せていく。

- ・ 3 グループ

実態を周知することや調べた結果を資料として作成していくことが大事。会議を公開することで審議できないということがわからない。せめて会議録の公開は検討しても良いのではないか。

委員長 まちづくり基本条例に関する運用状況調査報告書作成のための担当班を決めたい。

- ・ 1 グループ→「清瀬市まちづくり基本条例」第8条・4条・11条

- ・ 2 グループ→「清瀬市まちづくり基本条例」第10条・3条

- ・ 3 グループ→「清瀬市まちづくり基本条例」第10条・6条

「清瀬市まちづくり基本条例の運用状況に関する提言」については、報告書が出来上がってから一人の委員に作成していただく。

(2) 市民提案No. 2、No. 3について（グループ討議）

副委員長 市民提案 NO. 2 について補足説明

平成 31 年清瀬市議会第 1 回定例会で「弓道場設立に関する陳情」が採択された。

- ・ 3 グループ

NO. 2 については、弓道人口はどのぐらいいるのか。武道場が市内にできることは良いことで人が集まってくることも考えられる。

NO. 3 についてはほとんど話し合っていないが、こども基本法が昨年施行され、子どもの言い分や子どもが意見を言える場ができることは良いこと。

- ・ 2 グループ

NO. 2 については、造る必要性の把握や意見を聞かせてほしい。

弓道場のほかになるものはないのか。他市に弓道場使用の協力を要請してみてもどうか。

NO. 3 については、子どもの意見を聞くことはぜひやりたい。会議室で意見交換ができるのであれば直ぐに提案はできるのではないか。

2000 年の時に市長にどのぐらいの意見が届いているのか。

- ・ 1 グループ

NO. 2 については、弓道場の設置はかなりのスペース（50m×40m）が必要。弓道人口はどのぐらいいるのか。今回の提案は弓道人口を増やしてほしいのか道場を造って欲しいのかがわからない。（陳情が採択されたのであれば）市の方で積極的に話し合ってもらいたい。

N0. 3については、児童一人一人にタブレットが配布されているため、メール1本で周知はできる。先生方にこれ以上の負担がかからないような仕組みをつくる。長期休みの時に、まちづくりに関することを考えてきてもらうことにしても良いのではないか。

5 次回開催

令和6年12月17日（火）午後6時

清瀬市役所 市民協働ルーム

6 閉会